

パラスポーツの聖地を目指して!

北海道釧路市

ベトナム社会主義共和国

ベトナムと基本合意書締結!

釧路市は、8月5日にホストタウン相手国であるベトナムと東京パラリンピックに向けた合宿についての基本合意書を締結。

これにより、2019年8月、2020年の東京パラリンピック直前にベトナム代表のパラ・パワーリフティング、パラ・陸上の選手団が釧路市（湿原の風アリーナ釧路、釧路市民陸上競技場）で合宿することが決定した。

蝦名市長（左から4人目）、ベトナムスポーツ総局長グエン・ホン・ミン（右から5人目）、ベトナムパラリンピック協会ブー・ティエット副会長（右から4人目）



日越ホストタウンバドミントンフェスタ

8月1日
~5日開催



ベトナムを相手国とするホストタウンである3市（北海道釧路市、東京都国分寺市、大分県佐伯市）とベトナムの子どもたちが、バドミントンを通じて交流を図ることを目的として開催。初日は、お互いに緊張し、言葉少なだったが、2日目のパラ・バドミントン日本代表候補選手（大濱 真選手、島田 務選手）による体験会で打ち解けはじめ、最終日には、言葉の壁を乗り越え、別れを惜しむ声が聞かれるなど、大盛況のうちに幕を閉じた。

初めての競技用車いすの操作に苦労しながらのパラ・バドミントン



「フェアプレイの精神」について学ぶ子どもたち（オリパラ・ムーブメント）

東京オリンピック・パラリンピック開催まであと1年を人文字を作ってPR（最前列左大濱真選手、最前列右島田務選手）



車いすにも慣れ、「あすチャレ! 運動会」で盛り上がる子どもたち（車いすポートボール）

ベトナムパラリンピック選手団事前合宿

ベトナム代表パラ・パワーリフティング選手4名（女子50kg級 ダン・ティ・リン・フオン選手、女子55kg級 チャウ・ホアン・トゥエット・ロアン選手、男子49kg級 レ・バン・コン選手、男子54kg級 グエン・ビン・アン選手）、パラ・陸上選手3名（400m ファム・グエン・カイン・ミン選手、投てき カオ・ゴック・フン選手、投てき チャン・バン・グエン選手）が今年1月のプレ事前合宿に続き、2回目の事前合宿（パラ・陸上選手団は初）を行った。涼しい気候で、練習環境の整った釧路合宿を東京パラリンピックでの金メダル獲得へつなげたいと選手達は意気込んで、練習へ臨んでいた。

27日、2週間の合宿を終え、満足感と自信に満ちあふれた顔の選手達は、来年の直前合宿での再会を約束し、釧路を離れた。また、合宿期間中には、今冬のパラ・パワーリフティング体験交流会に参加した少女との再会、観光や買い物を楽しむ時間も企画する等、選手達からは、「釧路市民は、障がい者に優しい」と大絶賛であった。



半年ぶりの再会に感動するグエン・ビン・アン選手



練習に励むグエン・ビン・アン選手とレ・カン・タイコーチ

8月14日 ~27日実施



砲丸投げの練習に励むチャン・バン・グエン選手



突然の学校訪問だったため、後日、子どもたちが心を込めて作った寄せ書きをプレゼント



必勝祈願するレ・バン・コン選手（リオ・パラリンピック金メダル）



練習に励むファム・グエン・カイン・ミン選手

ベトナムパラリンピック選手団 学校訪問

8月19日、2学期の始業式の日学校訪問が実現した。夏休み中に事前合宿が決まり、学校訪問についても、子どもたちには知らせることができなかったため、選手達の訪問時には、とても驚いた様子であったが、試技や選手達と触れ合うなど、子どもたちは、目を輝かせていた。選手達からも普段は見られない笑顔が見られ、突然の学校訪問は、成功裏に終了した。



釧路市立朝陽小学校4年生と選手達との記念撮影



パワーリフティングを体験する子どもたち